

就任あいさつ



小野町副町長

大江 賢一

小野町の皆さま、はじめまして。4月1日付けで副町長に就任いたしました、大江賢一と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

はじめに、東日本大震災により亡くなられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

小野町においては、公共施設や一般住宅の損壊、道路の亀裂等の地震による被害、さらには原発事故に伴う風評被害など、復旧・復興には中長期的な時間を要することも懸念されますが、「笑顔とがんばりの町」として、皆さまが一日でも早く笑顔と活気に満ちあふれた生活に戻れますよう、微力ながら取り組んでまいりたいと考えております。

さて、せっかくの機会ですので簡単に自己紹介させていただきます。

きますと、私は昭和42年10月、福島市生まれの43歳であります。平成2年に福島県職員となり、総務部・企画調整部・保健福祉部・商工労働部・教育庁の各業務に携わってきました。小野町にはこれまで一度しかお邪魔する機会がありませんでしたが、出身高校の校歌に「水はきよし夏井川」との一節があり(高校生の頃はいわき市に住んでいました)、このたびこちらでお世話になることには何かしらのご縁とともに親しみを感じているところがあります。先日は満開の夏井千本桜を見ました。夏井川はじめ高柴山など豊かな自然、歴史や文化あふれる小野町での暮らしを楽しみにしています。

まだまだ若輩者でありますので、町民の皆さまのご指導とご鞭撻をお願いいたしまして、就任のあいさつといたします。

ハイブリッド型街路灯を設置

JR小野新町駅前広場に、太陽光発電・風力発電を利用したハイブリッド型街路灯が設置されました。

これは、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減を図ることを目的とし、東北グリーン電力基金の助成を受けて造られたものです。

町では、新エネルギーなどの導入を通して、エネルギー問題や地球環境問題に取り組んでいます。皆様のご協力をお願いします。



小野町PTA連絡協議会が「子ども110番の家」看板を作製

小野町PTA連絡協議会では、子どもたちの安全・安心を守るため、新たに「子ども110番の家」の看板を作製しました。

小野町では、十数年前から「子どもの家110番の家」の取り組みを行っていますが、看板の老朽化に伴い、小野町防犯協会ならびに田村警察署小野分庁舎管内中学校警察連絡協議会にご協力いただき、今回新しくしたものです。

デザインは小野獅子本舗の民芸品「小野獅子」を取り入れ、雄々しく子どもたちの安全を見守っています。また、看板に番号を入れることにより、非常時には番号を言えば警察署や消防署がすぐに場所を確認できるようになっています。

看板の設置については、今後各学校PTAが地域の実情に合った場所を選定し、ご協力いただける事業所や家庭に設置させていただく予定です。

